

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	子どもの保健				
担当者氏名	葛本 ひとみ				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-1 国際社会に貢献できる人材育成 ○ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

- ① 講義の形態：
 ・配布資料や教科書をもとに講義形式で授業を行う。内容により演習を取り入れる。
 ・パワーポイントで進め、内容により視聴覚教材を用いる。
- ② 学習方法：
 ・レポート作成や指数計算・成長曲線の作成、家庭への配布物の作成などにより、学習の理解を深める。

《授業の到達目標》

- 子どもの心身の特徴を理解し、健康を保持・増進するための保育の在り方や、子どもの健康支援について理解する。
 ・子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。
 ・子どもの身体発育や生理機能の発達を把握し、一人一人の子どもの発育発達と保健の在り方について理解する。
 ・子どもの健康状態とその把握の方法について理解する。
 ・子どもの疾病と予防法及び適切な対応について理解する。

《成績評価の方法》

平常点(学習態度、提出物、発表) 20% レポート・ミニレポート 40% 定期試験 40%

《テキスト》

「子どもの保健」 監修:大澤真木子 編著:小國美也子 (日本小児医事出版社)

《参考図書》

保育所保育指針(厚生労働省編)保育所保育指針解説(フレーベル館) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、文部科学省、厚生労働省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(フレーベル館) 幼稚園教育要領(文部科学省)幼稚園教育要領解説(フレーベル館)、関連するガイドライン

《授業時間外学習》

- 【予習】
 「子どもの保健の授業計画表」をもとに学習範囲を確認し、配布プリント、参考資料等を熟読すること。
- 【復習】
 配布プリントの見直しを行い、各回の学習のまとめをノートに作成すること。

《備考(教員経験の有無)》

この科目は小学校の教員経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション・子どもの健康と保健の意義	①保健活動の意義と目的
2	子どもの健康と保健の意義	②子どもの健康概念と健康指標、子どもの保健統計
3	子どもの健康と保健の意義	③子どもの健康についての現状と課題、地域の保健活動と児童虐待の防止
4	子どもの身体発育と生理機能の発達	①身体発育と保健
5	子どもの身体発育と生理機能の発達	②生理機能の発達と保健
6	子どもの身体発育と生理機能の発達	②生理機能の発達と保健 ③運動機能の発達・精神機能の発達
7	子どもの健康状態の把握	①健康状態の観察
8	子どもの健康状態の把握	②発育・発達の把握と健康診断
9	子どもの健康状態の把握	③保護者との情報共有
10	子どもの疾病の予防及び適切な対応	①主な疾病の特徴(子どもの病気の特徴、感染症)
11	子どもの疾病の予防及び適切な対応	(免疫・アレルギー性疾患、消化器疾患、皮膚の疾患)
12	子どもの疾病の予防及び適切な対応	(循環器疾患、呼吸器疾患、血液系の疾患)
13	子どもの疾病の予防及び適切な対応	(内分泌・代謝性疾患、神経系疾患、悪性腫瘍)
14	子どもの疾病の予防及び適切な対応	(腎・泌尿器疾患、先天性の疾患、SIDS)
15	子どもの疾病の予防及び適切な対応	(目・耳の疾患) ②子どもの疾病の予防と対応